

**「第48回沖縄の産業まつり」で地震保険やBCP啓発
～一般参加者に地震保険等を普及するとともに、産業まつりの出展者にもBCPを啓発～**

日本損害保険協会沖縄支部（委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、10月25日（金）～27日（日）に奥武山公園（那覇市）で開催された「第48回沖縄の産業まつり」にブースを出展しました。

「沖縄の産業まつり」は、生産者の生産意欲の高揚と県内外の方々に県産品を知り、身近に感じていただく場として、県の産業振興や産業教育に大きく貢献しており、昨年度の来場者は31万人を超える県内最大級の産業イベントです。今年度も426の企業・団体から出展がありました。

沖縄支部では、来場者に対して、世帯加入率が全国最下位となっている地震保険の加入を呼びかけるとともに、中小企業の多い、産業まつり出展者に対しても、災害が発生した際などの事業継続を脅かすリスクに対して備えるBCP策定を呼びかけました。

沖縄支部では、イベント等多くの方が集まる機会を通じて、災害等発生後の経済的備えの重要性を啓発することを通じて、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施してまいります。



参加者への啓発の様子



ブース出展者への説明の様子



参加者への配布チラシ



ブース出展者への説明リーフレット